

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【公開番号】特開 2002-319227 (P2002-319227A)
 【公開日】平成 14 年 10 月 31 日 (2002.10.31)
 【出願番号】特願 2001-121971 (P2001-121971)
 【国際特許分類第 7 版】

G 1 1 B 20/10
 H 0 4 N 5/91
 H 0 4 N 7/08
 H 0 4 N 7/081

【F I】

G 1 1 B	20/10	H
G 1 1 B	20/10	F
H 0 4 N	5/91	P
H 0 4 N	7/08	Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 16 日 (2005.2.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】デジタル情報記録再生装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入力された映像情報または音声情報を含むデジタル情報を記録媒体に記録再生するデジタル情報記録再生装置において、

上記デジタル情報には、該デジタル情報を記録媒体に記録することを許すか否かを示すコピー制御情報を含み、

上記デジタル情報に所定の処理を行い第一の記録媒体に記録再生する記録回路と、

上記デジタル情報から、上記コピー制御情報を検出する制御検出回路と、

上記制御検出回路での検出結果に基づき上記記録回路の記録動作を制御する記録再生制御回路とを備え、

上記記録再生制御回路は、上記コピー制御情報が、一世代のみ記録を許すことを示すものである場合には、上記第一の記録媒体上に上記デジタル情報の同一のコピーを複数個記録する記録機能と、上記複数個のコピーの内のいずれかを再生して第二の記録媒体に移動させる機能を有することを特徴とするデジタル情報記録再生装置。

【請求項 2】

前記記録再生制御回路は、前記コピー制御情報が、一世代のみ記録を許すことを示すものである場合には、前記第一の記録媒体上に前記デジタル情報の同一のコピーを 2 個記録する記録制御機能と、上記 2 個のコピーの内の 1 個を再生して第二の記録媒体に移動させる機能を有することを特徴とする請求項 1 に記載のデジタル情報記録再生装置。

【請求項 3】

前記第一の記録媒体は取り外しできない記録媒体であり、前記第二の記録媒体は取り外し可能な記録媒体であることを特徴とする請求項 1 に記載のデジタル情報記録再生装置。

【請求項 4】

前記入力されたデジタル情報はデジタル放送信号であり、
デジタル放送信号を受信して復調する受信回路を備えたことを特徴とする請求項 1 に記載のデジタル情報記録再生装置。

【請求項 5】

前記第一の記録媒体に一時記録したコピーを移動した時には、少なくともコピーの一部を再生不能化することを特徴とする請求項 1 に記載のデジタル情報記録再生装置。